

市交際費の支出状況



令和5年10月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	5,000
	累計	61	195,000
見舞い	今月分	0	0
	累計	0	0
御祝	今月分	2	4,000
	累計	23	96,000
賛助	今月分	0	0
	累計	1	6,100
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	0	0
	累計	41	101,642
会費	今月分	4	23,000
	累計	19	88,000
その他	今月分	0	0
	累計	0	0
合計	今月分	7	32,000
	累計	145	486,742

※くわしくは市ホームページに掲載しています

問い合わせ

総務課 秘書係
☎75-2115

「自分らしく生きる幸せ」

最近、自分らしく生きる、特に高齢者の「ひとり」で生きる老後について、世間では話題になってきているようだ。

空気を読む、出る杭は打たれるなど、皆に合わせた生き方(日本文化の根底に流れているような気がするが)でなく、自分らしく生きてこそ幸せがあるという各人の人権意識がそうさせているのだろうか。ある週刊誌にも「一人で生きる老後の特集」があった。

仕事中心の人生。：退職後地域に溶け込めず、振込詐欺にも遭いやすい。
ひとりになって子どもとの同居は最悪だ。：自己実現の楽しみは削られ、子は親の介護なん

tomoniki

てとんでもない。

住み慣れた自宅を手放すなんて。：マンションは狭く、新しいコミュニティに溶け込めない。老人ホームに入居しても孤立してしまう(特に男性は)。

エンディングノート・遺言書は早め。：葬儀の形式、家族葬が多くはなっているが、喪主、遺影、呼ぶべき人、お墓の整理、相続。

私も戦後生まれ。ベビーブームの団塊の世代。後期高齢者となり、同窓会も今回の喜寿の祝いで一応終了しようとなっている。いつ天寿を全うしてもおかしくない年齢となり、自宅介護で自然死を望むが、自分の意思をしっかりと子どもや周囲に伝えるためにも、エンディングノートは、毎年書き改めていこうと思っている。自分らしく生きるためにも。

多久市人権擁護委員

Message for citizen



市長コラム



医療的ケア児のことをご存知ですか。医学の進歩を背景として、NICU(新生児特定集中治療室)等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な子どもたちです。全国に2万人とも言われ、そのご家族は24時間体制で日常をケアされており、一般の想像をはるかに超える難しさ・厳しさがあります。そんな状況にある幼い生命に向き合う時、日本の政治行政にはまだ改善すべきこと、できることがあると思えます。法律や制度の改正や改善、財政的支援も必要です。そこで医療的ケア児を考える首長ネットワークを有志で立ち上げ、発起人の一人として努めたいと思います。

医療的ケア児・難病患者の支援

市長 横尾 俊彦

11月20日記

活用策として医療福祉の現場への配布とともに難病患者とご家族に届けたいと考えました。でも難病患者の情報や対策は都道府県所管のため市から直接対応できません。そこで必要枚数、封筒と糊、郵送切手、封入作業員などを整え、県に持ち込み、配布してもらいたいと申し入れました。でも結果は「できない」でした。最終的には「難病患者やご家族が必要な方は市役所に申し出られたらお渡しします」とお知らせして希望者にお渡ししました。

コロナ禍という有事の状況下、難病患者もご家族も含め市民を守るのは市長の仕事です。もっと身近で迅速に最適の対応ができるように改めることも今後重要になると感じます。

全ての人が少しでも心豊かに暮らせるよう、小さくとも確かな改善の歩を進めたい。そんな願いを胸に師走を迎えます。